

作目名	ぶどう
-----	-----

<雨よけ栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

岐阜、西濃、中濃

(2) 立地条件

①気象条件

年平均気温7℃以上、4～10月までの平均気温14℃以上、4～10月の降水量1,600mm以下の地帯が適する。冬期の低温には比較的強いが、自発休眠明け後の2月以降に-10℃以下の低温になりやすい地域は寒害の影響を受けるので避ける。

②ほ場条件

ぶどうは、比較的やせ地に耐え、耐湿性、耐乾性ともに強く、土壌に対する適応性は広いが、通気性のよい砂壤土がもっとも適している。また、石灰や苦土を多く含み、pHが弱酸性～弱アルカリ性の土壌がよい。地勢は、作業面からすれば平坦地がもっとも有利であるが、一般的には緩傾斜地（南、南西向き）で良品が生産されており、排水、通気性、日照、気流の流れ、気温などの条件がぶどう生産に有利である。

(3) 目標収量と植栽間隔（10a 当たり）

①デラウェアのX型長梢自由型整枝の場合

	植え付け	結実開始	若木期	成木期	老木期
樹齢（年）	1	3～4	5～8	9～30	30～
収量（kg）	0	500	1,000	1,500	1,500
栽植本数（本） （栽植距離）（m）	25～30 （4.5×9または4×8）		12～16（生育の応じて早めの間伐実施） （9×9または8×8）		

②巨峰の短梢剪定整枝（平行整枝H型）の場合

	植え付け	結実開始	若木期	成木期	老木期
樹齢（年）	1	3～4	5～8	9～30	30～
収量（kg）	0	500	1,000	1,500	1,500
栽植本数（本） （栽植距離）（m）	主枝間2～2.5mの場合 主枝間3～3.5mの場合	主枝長 片側 主枝長 片側	2.5～3.5m 2.5～3.5m	30本 20本	

